

平成31年度 全国学力・学習状況調査

林間小学校の結果報告

今年4月に実施されました「全国学力学習状況調査」の結果がまとまりました。林間小6学年全体のおおまかな結果についてお知らせします。今回の結果を受けて、今後の学習面・生活面の指導を充実させていきます。

■全国学力・学習状況調査とは？

小中学生の学力や学習状況を把握するために文部科学省が実施する調査。平成19年（2007）から小学6年生と中学3年生の児童生徒を対象に行われています。内容は、**国語・算数の学力テスト**と、**生活習慣・学習環境に関するアンケート調査**からなります。学力テストについては、普段教室で行うテストとは違い、問題用紙と解答用紙は別となっています。

なお、この調査により測定できるのはあくまで、学力の一部であること、学校における教育活動の一側面であることに留意して結果を活用していきます。

■今年度の調査の結果

概 評 昨年度までは、主に知識を問うA問題と主に活用を測るB問題に分かれていましたが、今年度から国語・算数共に知識を問う問題、活用問題を含めて1つずつの調査に変わりました。そのため昨年度との比較ができませんが、算数では全国との正答率の差はそれほどでもないですが、国語については残念ながら全国との差がある状況です。

教科ごとの結果 全国平均と比べて特に目立った結果（主として±5ポイント程度の差があるもの）と今後の対策

【 国 語 】

◎ よくできていた問題

(問題1-1) 調べたことを報告する文章で2つの資料をどのような目的で用いているかを選ぶ4択問題。

(問題1-4-1イ) 漢字の記述問題（友達にかぎらず） 正解は 限らず

▼ あまりよくできていなかった問題

(問題1-4-1ア) 漢字の記述問題（調査のたいしょう） 正解は対象 象の文字の誤答が多い

(問題2-1-2) 食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】に、疑問に思ったことに対する答えになるように考えて書く
記述式問題。

(問題3-2) 豊職人への質問の工夫の目的について適切なものを選ぶ4択問題。

(問題3-3) インタビューで豊職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを30字以上60字以内でまとめる記述式
問題

(問題3-4) 「習うより慣れろ」ことわざの使い方として適切な使い方を問う4択問題。

問題3 についてはすべての問題で無解答率が高く、正答率が低い状況でした。特に問題3-2以降は全国と比較して10ポイント以上高い無回答率となっています。後のアンケート結果にもあるように国語の解答時間が足りなかったと答える児童が多く、問題3までたどり着けていないことや問題数の多さ、粘り強く解くことを諦めてしまっているのかもしれません。記述式問題についても無解答率が高く、書くことに対する抵抗感も感じとれました。

◎ 今後の対策は？

- ・国語の基礎基本である漢字の読みや書きをこれからも引き続きしっかり指導していきます。
- ・目的に応じて複数の本や文章を選んで読み、情報を選択して、自分の考えをまとめる活動を取り入れていきます。
- ・大事な事柄を落とさず、自分の考えを簡潔に説明したり、書いたりする活動を取り入れていきます。

【 算 数 】.....

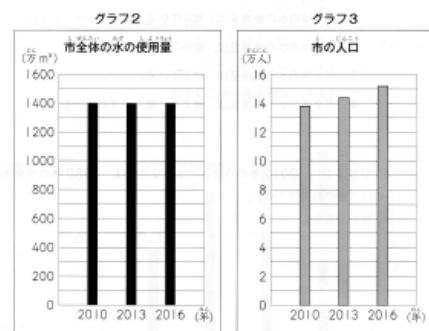
◎ よくできていた問題

(問題 2-3) 右の2つグラフを見て、2010年から2016年までの水の使用量について正しいものを選び、わけを言葉や数を使って答える問題。

正解は 1人あたりの水の使用量は減っている

理由 (水の使用量)÷(市の人口)=一人あたりの水の使用量が求められ、それぞれ計算をし、2010年は約100m³ 2013年は約97 m³ 2016年は約93 m³

と説明 ◎



市全体の水の使用量はほとんど変わらないが、市全体の人口が増えているから一人あたりの水の使用量は減っているも○
(問題 4-2) 観覧車のゴンドラが20秒で1台来る。10組後ろで待っている人は何秒後に乗れるか求める式を書く問題。

▼ あまりよくできていなかった問題

(問題 2-4) 四則の混じった計算問題 $6 + 0.5 \times 2$ かけ算を先に計算してからたし算をするので、正解は 7
式の初めのたし算から順番に計算をして13と答えた児童が30%近くいました。

(問題 3-2) 減法の計算でまとめたことをもとに乗法、除法について同じように計算の工夫について言葉で説明する記述式問題。

(問題 4-3) レジ待ちの人がポール3本分進むのに9分かかった。後レジまで7ポール分あるとこの後24分以内にレジまでつけるかどうかを言葉や式を使って求める問題。

答えは ポール3本で9分だから ポール1本進むには、 $9 \div 3 = 3$ 分かかかる。あと、レジまでポール7本なので、レジにつくのは $3 \times 7 = 21$ 分後 だから24分以内につくことができる。

◎ 今後の対策は？

- ・計算の順序についてのきまりを確実に理解できるようにするなど基本的な事項について、繰り返し指導していきます。
- ・計算の法則や図形の問題など、児童がいろいろな工夫を考えさせるとともに算数の用語を用いながら説明し理解を深めるなど指導を充実させていきます。
- ・学んだことを活用できるように、算数の学習と生活とのつながりを常に意識させながら指導していきます。

生活習慣・学習環境に関するアンケート調査(質問紙)の結果 全国平均と比べてプラス=◎、マイナス=▼

アンケート調査は、児童の自己評価で質問項目は、全部で58問。(昨年度は62問)ここでは、①学習および学校生活について、②生活習慣および家庭生活について、③自分および社会に関する関心や規範意識に分けて示していきます。

【学習および学校生活についての項目】 ※枠の中の()はアンケートの質問番号を示す。上位ほど顕著な傾向。

◎良好だった内容	▼課題があった内容
(7) 先生はわかるまで教えてくれていると思いますか	(57) 解答時間は十分でしたか(国語)
(27) 5年生までの授業で、ICTをどの程度使用しましたか	(37) 国語の勉強は好きですか
(35) 5年生までの授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	(43) 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか
(29) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	
(52) 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	
(50) 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	

◎(50)(52)は、算数に関係している内容であり、興味をもって学習できていると考えられます。また、(27)は、教室の電子黒板やタブレットなどを活用した授業が普段から行われていることがうかがえます。さらに(29)(35)から学習課題を

解決するために自ら考え、進んで考えることや友達との対話により学習を深めるような授業を展開していくことを教員が心がけていることが伺えます。(7)については、林間小の教員が「わかった」「できた」の実感を子どもたちに感じさせたいと取り組んでいることが子どもたちに伝わっているようで、うれしい限りです。

▼国語への興味関心が低い状況にあることが伺えます。国語の状況調査の問題でも大問題四の無解答率が高く、(57)で時間が足りたと感じている子どもは、全国に比べ14ポイントも低い状況でした。学習の中で自分の考えについて根拠を持って説明できるようにすることや文章を表記する際も言いたいことを明確にするなど書くときも言う時も大事なことを落とさず、簡潔にわかりやすく表現できるように指導を工夫していきたいと考えています。

【生活習慣および家庭生活についての項目】

◎良好だった内容	▼課題があった内容
(21)読書は好きですか (19)学校の授業時間以外に普段1日あたりどれくらいの時間読書を読みますか(教科書や参考書、漫画雑誌を除く) (22)新聞を読んでいますか	(18)学校の授業時間以外に、普段1日あたりどれくらい勉強をしますか(学習塾、家庭教師に教わっている時間も含む) (20)昼休みや放課後、学校が休みの日に本を読んだり、借りたりするために学校図書館や地域の図書館にどれくらい行きますか (4)家の人と学校での出来事について話をしますか

◎読書好きな子どもが多く、1日に読書する時間についても1時間以上読書をする子どもは全国平均より3ポイント以上上回っています。また、新聞を週1回～3回以上読んでいる児童は、全校平均より、8ポイント程度多くなっています。新聞を取らない家庭も増えてきており、全国的にも年々低くなってきている現状ですが、学校では、週刊の読売KODOMO新聞を配架しており、その効果もあると思われます。

▼(18)は、「1時間以上行う」の回答は、全国平均より13ポイントも低くなっています。本校では「ふたばノート」での家庭学習を推進し、熱心に取り組んでいます。学年×10分という目安も提示しています。6年生には1時間程度の家庭での学習習慣はつけさせたいと考えています。(20)については、読書に興味のある子どもたちですが、学校図書館の活用については今一つようです。高学年になると読書センターとしての活用に併せて、学習センターとしての活用も増えてきます。読書センターの魅力と共に、調べ学習なども効率よくできるような学校図書館の仕組みを考えていきます。(4)についてはぜひご家庭で学校の事について話をする時間を設けてくださるようお願いいたします。学校も1日の中で楽しかった学校での出来事(お話のお土産)を持ち帰られるように努力していきたいと思えます。

【自分および社会に対する関心や規範意識についての項目】

◎良好だった内容	▼課題があった内容
(12) 学校へ行くのは楽しいと思えますか (13) 学校のきまりを守っていますか (8) 将来の夢や目標を持っていますか	(23) 今住んでいる地域の行事に参加していますか (5) いじめはどんな理由でもいけないことだと思う (24) 地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか

◎(12)は、全国平均より9ポイント(13)は7ポイント程度上回っています。学校のきまりを守って楽しく学校生活を送ることができていることは、とても好ましいことです。(8)の夢や目標を持つことは挑戦したり努力したりすることで自主性が培われるとともに、生活を豊かにすることにもつながります。

▼(23)は、全国平均に対し9ポイント程度低くなっています。実際には本校の児童はかなりお祭りやふれあい広場などに参加していると思うので「地域の行事に参加」の意味をその都度確認していきたいと思えます。(5)のいじめについては、ほとんどの子どもは絶対いけないものと考えていますが、20%程度の児童が「絶対とは思わない」と答えています。今後は100%を目指し、道徳・人権教育の充実を図っていきたくと考えています。(24)についても自分の住んでいる「地域」を大切に思う気持ちを育てていきたくと考えます。まずは、自分たちが地域の人たちの協力によって安全に健やかに成長できていることを再度認識させていくことから取り組んでいきたくと考えます。